

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	浦川		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	Word2016を使用し、日本語の入力および文書処理能力を身につけ、ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。またビジネス文書作成の基礎的な技能を有していることを確認するためWord文書処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
			○			キーボードの文字位置を覚え、キーボードを見ずにタイピングをする	
		○	○			ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる	
		○	○			Wordの編集操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する	
テキスト・教材 参考図書	・30時間でマスター Word2016 ・Word文書処理技能認定試験3級問題集 ・タイプクイック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	正しいタイピング・Word基礎・文字入力・文字変換・文字修正			タイプクイックLesson1～6		
	2	正しいタイピング・Word基礎・短文入力・短文変換			タイプクイックLesson1～6		
	3	正しいタイピング・入力と編集			タイプクイックLesson1～6		
	4	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・基礎)			タイプクイックLesson1～6		
	5	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表)			タイプクイックLesson1～6		
	6	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・図解)			タイプクイックLesson1～6		
	7	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)			タイプクイックLesson1～6		
	8	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)			タイプクイックLesson1～6 ⇒提出		
	9	検定対策(練習問題レベル1)			検定問題集の実施		
	10	検定対策(練習問題レベル2)			検定問題集の実施		
	11	検定対策(練習問題レベル3)			検定問題集の実施		
	12	検定対策(練習問題レベル4)			検定問題集の実施		
	13	検定対策(練習問題レベル5)			検定問題集の実施		
	14	検定対策(練習問題レベル6)			検定問題集の実施		
	15	検定対策(練習問題レベル7)			検定問題集の実施		
	16	検定対策(模擬問題レベル1)			検定問題集の実施		
	17	検定対策(模擬問題レベル2)			検定問題集の実施		
	18	検定対策(模擬問題レベル3)			検定問題集の実施		
	19	検定対策(模擬問題レベル4)			検定問題集の実施		
	20	検定対策(模擬問題レベル5)			検定問題集の実施		
	21	検定対策(模擬問題レベル6)			検定問題集の実施		
	22	検定対策(サンプル問題)					
	23	前期実技試験					
評価方法	(1)Word文書処理技能認定試験3級 (2)前期実技試験 (3)タイプクイック提出(Lesson6まで実施し、正確率95%とする)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Word文書処理技能認定試験		○	◎			50%
	前期実技試験		○	◎			40%
	タイプクイック提出			◎			10%
履修上の注意	操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する						

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	若松昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成		
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成		
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成		
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成		
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成		
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成		
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)	General education I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口恵子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
	○					計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明(シラバス)			次回学習部分に目を通しておくこと		
	2	ROUND1:漢字の知識、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関について、時事用語			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	3	ROUND2:社会(環境問題、選挙について、国内政治について、宗教)、漢字の知識			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	4	第1回実力テスト ROUND2:英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	5	ROUND3:英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	6	ROUND4:社会(歴史、国際連合について)、文学史			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	7	ROUND4:社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5:国語(漢字の知識)、時事問題			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	8	ROUND5:社会(世界の発明家について)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6:主な国際機関、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	9	ROUND7:国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言・名句) ROUND8:国語(ことわざ)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	10	ROUND8:社会(天皇の国事行為について、内閣について、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9:英語(熟語の知識)、時事用語、数学(損益算)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	11	ROUND9:社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	12	第2回実力テスト ROUND10:英語(単語の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	13	ROUND10:社会(経済)、数学(√の計算)、国語(漢字の知識)			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
	14	ROUND10:社会(各国の歴史と現在の状況)、英語(空所補充)、時事問題			テキストの該当部分の復習をしておくこと		
15	ROUND1~10のまとめ			試験範囲の部分の復習をしておくこと			
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外観光地理 I						
科目名(英)	Overseas tourism geography I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋榮二		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主要国・主要都市の位置を学び、その観光資源を理解する。 各地の観光スポットを学び、特長を理解する。 						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					世界地図で各国、主要都市の名称、位置を説明できる。	
		○		○		各国の観光地、観光資源を説明できる。	
		○		○		観光スポットの特長、名産品を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	海外観光資源、海外地理サブノート、世界地図						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				授業で使用した資料を復習する。	
	2	アジアの主要国・主要都市				授業で使用した資料を復習する。	
	3	韓国・台湾の観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	4	中国の観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	5	シンガポール・マレーシアの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	6	北・中米の主要国・主要都市				授業で使用した資料を復習する。	
	7	アメリカ本土・ハワイの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	8	カナダ・メキシコの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	9	ヨーロッパの主要国・主要都市				授業で使用した資料を復習する。	
	10	イギリス・フランスの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	11	ドイツ・イタリアの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	12	スイス・スペインの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
	13	オセアニアの主要国・主要都市				授業で使用した資料を復習する。	
	14	オーストラリア・ニュージーランドの観光資源				授業で使用した資料を復習する。	
15	まとめ						
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				80%
	レポート		◎		○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	観光英語A						
科目名(英)	Tourism English A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	栗本 聡		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	テスト形式や出題内容に慣れることにより、試験での時間配分、問題を解く手順ができるようになる。 旅行や観光の際のさまざまな場面での言い回しや専門的な用語、必要となる初歩的な英会話を学習すること で 求められる英語力を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					後期実施される観光英語の試験問題を解くことができる。	
	○					試験での時間配分、問題解答手順を理解することができる。	
	○					旅行・観光の専門的な単語・表現を覚えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	観光英語過去問 受験前にぜひチェックしておきたい頻出150項目(観光英検センター)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	観光英語検定概要・第37回過去問演習(筆記)			本日の復習・見直し		
	2	第37回過去問解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	3	第37回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	4	第37回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	5	第32回過去問演習・解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	6	第32回過去問・解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	7	第32回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	8	第32回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	9	第33回過去問演習・解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	10	第33回過去問解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	11	第33回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	12	第33回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し		
	13	第34回過去問演習・解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
	14	第34回過去問解答・解説(筆記)			本日の復習・見直し		
15	第34回過去問演習・解答・解説(リスニング)			本日の復習・見直し/前期試験の準備			
評価方法	(1)単語テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					80%
	単語テスト	○					10%
	出席・授業態度				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	国内運賃料金						
科目名(英)	Domestic Fare Rates						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	大岡牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	旅行業界ならびに旅行関連業界において、JR・航空・宿泊・フェリー・貸切バス等、運送・宿泊に関わる運賃料金の知識は必須である。この授業では、旅行業界ならびに運送・宿泊従事者として必要な運賃料金制度に精通し、計算技能を習得することを旨とする。国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標						
	JRの運賃料金制度について理解し、計算することができる。						
	国内航空運賃料金について理解し、計算することができる。						
	宿泊料金について理解し、計算することができる。						
フェリー・貸切バスの運賃料金について理解し、計算することができる。							
国内および総合旅行業務取扱管理者試験の「国内旅行実務」科目において運賃料金計算分野で6割以上得点することができる。							
テキスト・教材 参考図書	U-CAN 2019年版 国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	旅行業務取扱管理者試験の概要			国家試験の概要・科目を再確認すること。		
	2	JR時刻表の使い方			課題プリントで時刻表を使う練習をすること。		
	3	JRの基礎知識			学習範囲を復習し、用語の定義を覚えること。		
	4	JR運賃計算①(運賃計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	5	JR運賃計算②(運賃計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	6	JR運賃計算③(3島会社とまたがる場合)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	7	JR運賃計算④(通過連絡運輸)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	8	JR運賃計算⑤(運賃計算の特例)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	9	JR運賃計算⑥(運賃計算の特例)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	10	JR運賃計算⑦(学生割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	11	JR運賃計算⑧(往復割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	12	JR運賃計算⑨(団体割引)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	13	JR運賃計算⑩(運賃計算 まとめ)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	14	JR料金計算①(料金計算の基礎)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	15	JR料金計算②(特急料金・急行料金・座席指定料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	16	JR料金計算③(グリーン料金・寝台料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	17	JR料金計算④(最速達型新幹線特急料金)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	18	JR料金計算⑤(乗継割引の種類)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	19	JR料金計算⑥(乗継割引の計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	20	JR料金計算⑦(在来線特急料金の通し計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	21	JR料金計算⑧(新幹線特急料金の通し計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	22	JR料金計算⑨(東海道・山陽・九州新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	23	JR料金計算⑩(東北新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	24	JR料金計算⑪(東北・北海道新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	25	JR料金計算⑫(山形・秋田新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	26	JR料金計算⑬(北陸新幹線の料金計算)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	27	JR乗車券類の取扱い、払戻し			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	28	国内航空運賃料金①(基礎知識、運賃の種類)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	29	国内航空運賃料金②(払戻し)			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
	30	宿泊・フェリー・貸切バスの計算			学習範囲を復習し、課題を解くこと。		
評価方法	(1) 授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う。 (2) 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	課題プリント	◎	○		◎		50%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	国内研修						
科目名(英)	Domestic training						
単位数	0	時間数	24時間	担当者	若松昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	事前に現地での行動計画を立てることでプランニングを学ぶとともに、関西地区の地理や文化についての理解を深める。また、実際に添乗員の業務を見ることで、将来、自分が目指す業界をイメージできる体験、機会の場とする。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					関西地区の観光地や物産、文化等の観光資源を深めることができる。	
		○				関西地区の観光地や物産、文化等の観光資源を説明することができる。	
		○				エリアに応じた行程表(行動予定)を作成することができる。	
			○			計画・予定に沿って行動することができる。	
			○			団体行動を認識し、周囲に配慮して研修を修了することができる。	
テキスト・教材 参考図書	国内観光資源、旅行情報誌等						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	関西地区の観光資源－自然景観の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	関西地区の観光資源－観光地の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	関西地区の観光資源－名産品の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	関西地区の観光資源－交通網の学習(鉄道路線・航路)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	行程表(行動予定表)－グループワークでの意見の集約			観光資源学習内容を復習しておくこと		
	6	行程表(行動予定表)－グループワークでの行程表作成			意見集約内容を確認しておくこと		
	7	行動表(行動予定表)－パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成			自グループの行程表を確認しておくこと		
	8	行動表(行動予定表)－グループ毎の行動予定を発表			プレゼンテーション内容の整理をしておくこと		
	9	実地研修－添乗員業務の学習			全体スケジュールの確認をしておくこと		
	10	実地研修－行動予定の実地検証			自グループの行程表を確認しておくこと		
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)観光資源の各学習内容の理解度で確認と評価を行う。 (2)行動予定表の完成度で評価を行う。 (3)実地研修に取組む姿勢(態度、意欲)も評価対象とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学習内容理解	◎	○				25%
	行動予定表内容		◎		○		25%
	研修への姿勢				◎		50%
履修上の注意	現地研修不参加の場合は事前の学習内容理解と行動予定表内容をもって評価する。						

科目名	国内地理対策						
科目名(英)	Domestic geography measures						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において旅行 添乗員として勤務		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	観光地の名称や所在地、温泉地や自然、祭りや名産品などの観光資源全般に関する知識は、旅行業界を目指す者として、基礎であり最重要の地位を占めるものである。授業では、国内旅行業務取扱管理者試験において、出題率の高い主要観光資源を地域ブロックごと、都道府県ごとに、ピックアップする。それらの特長や魅力を知り、国内旅行業務取扱管理者試験で6割以上の正答率を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				47都道府県の位置と県庁所在地を答えることができる	
	○	○				国内の温泉地を、25か所以上挙げることができる	
	○	○				47都道府県それぞれの観光資源を10以上挙げることができる	
		○				観光資源と所在都道府県を一致させることができる	
	○	○				国内の主要な祭りや年中行事の開催場所(都道府県)と開催月について説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	国内観光資源 国内地理サブノート 旅に出たくなる地図 日本						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	47都道府県 ～県庁所在地、場所、地方について～			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	九州、中国、四国地方の温泉地			本日の内容の復習をし、温泉地と所在都道府県が一致するように暗記をすること		
	3	近畿、中部、関東地方の温泉地			本日の内容の復習をし、温泉地と所在都道府県が一致するように暗記をすること		
	4	東北、北海道地方の温泉地			本日の内容の復習をし、温泉地と所在都道府県が一致するように暗記をすること		
	5	九州地方の観光資源 ～福岡県、佐賀県、長崎県～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	6	九州地方の観光資源 ～大分県、熊本県～			本日の内容の復習をし、観光資源の暗記をしておくこと		
	7	九州地方の観光資源 ～宮崎県、鹿児島県～			本日の内容の復習をし、観光資源の暗記をしておくこと		
	8	九州地方の観光資源 ～沖縄県～			本日の内容の復習をし、観光資源の暗記をしておくこと		
	9	四国地方の観光資源 ～香川県、愛媛県～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	10	四国地方の観光資源 ～徳島県、高知県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	11	中国地方の観光資源 ～山口県、広島県～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	12	中国地方の観光資源 ～岡山県、鳥取県、島根県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	13	関西地方の観光資源 ～兵庫県、大阪府～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	14	関西地方の観光資源 ～滋賀県、京都府～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	15	関西地方の観光資源 ～奈良県、和歌山県、三重県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	16	中部地方の観光資源 ～愛知県、静岡県～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	17	中部地方の観光資源 ～山梨県、長野県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	18	中部地方の観光資源 ～岐阜県、福井県、富山県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	19	中部地方の観光資源 ～石川県、新潟県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	20	関東地方の観光資源 ～神奈川県、東京都～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	21	関東地方の観光資源 ～千葉県、茨城県、埼玉県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	22	関東地方の観光資源 ～栃木県、群馬県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	23	東北地方の観光資源 ～福島県、山形県～			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	24	東北地方の観光資源 ～宮城県、秋田県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	25	東北地方の観光資源 ～岩手県、青森県～			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	26	北海道の観光資源			小テストを実施するため、範囲を復習しておくこと		
	27	日本国内の世界遺産について			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	28	国内の主要な祭りや年中行事、名産品について			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	29	国立公園、国定公園について			本日の内容を復習し、観光資源の暗記をしておくこと		
	30	文化財や伝統建築物、知っておきたい名数について			定期テスト範囲を復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを8回実施する。(2)サブノートの提出を4回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	○	◎		○		15%
	サブノート提出	○	◎		○		15%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I A								
科目名(英)	Social Study I A								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松昌枝				
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	トラベル科・1年								
授業概要	麻生塾の規則を知る。学科の特性を知る。団体行動の際、自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション力などを養う。クラス運営に必要な役割を理解し、役割を担う。また、学科の目指す業界の内容を全体的に学び、就職に必要な準備を行っていく。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
		○				自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。			
	○					就職活動準備に向けて、情報共有、収集を行い、希望職種について理解できる。			
		○				作文の書き方を学び、課題の作文を書く。自己紹介シートを完成できる。			
				○		クラスで方向性を共有し、協調性を深めることができる。			
テキスト・教材 参考図書	特になし。								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	学則について～ルールとマナーとは				学生便覧を読んでおくこと			
	2	目標設定・クラス内での自身の役割について				目標を考えてくること			
	3	作文の書き方を学習し、自己表現の方法を知る				作文内容を考えてくること			
	4	作文の下書き作成				作文内容を考えてくること			
	5	作文の清書				清書にあたり、作文構成の調整をしておくこと			
	6	国家試験の科目の説明、出題形式・配点等の理解				関連教科書に目を通しておくこと			
	7	就職準備－旅行業界の概要説明				就職ノートを準備すること			
	8	就職準備－関連業界の紹介と概要把握				ノート内容の整理、復習をしておくこと			
	9	就職準備－旅行業界における職種の説明と業務内容				ノート内容の整理、復習をしておくこと			
	10	就職準備－旅行業界で必要とされる人材像、関連資格の内容説明				ノート内容の整理、復習をしておくこと			
	11	就職準備－業界の代表的な企業、ローカル企業の概要説明				業界の企業を調べておくこと			
	12	就職準備－現在及び過去の就職実績、求人状況の共有				ノート内容の整理、復習をしておくこと			
	13	就職準備－就職試験の形式、面接内容等を紹介、情報共有				ノート内容の整理、復習をしておくこと			
	14	国内研修旅行(関西方面)の案内と意義の説明				研修旅行の行動予定を考えておくこと			
15	前期内容の振り返りと夏休みの補講について				自分のスケジュール管理をしておくこと				
評価方法	(1)前期中に2回作文を提出する。(2)その他提出物の期限を遵守する。(3)自分の考えを積極的に発言する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	出席状況				○		80%		
	作文提出状況	○			○		10%		
	授業内での発言				○		10%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。								

科目名	取扱管理者合宿						
科目名(英)	National examination Training camp						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	国内旅行業務取扱管理者の取得に向けての対策と対象科目の前期学習分の総復習とするため、学外での勉強合宿を実施。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					旅行業法の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
	○					旅行業約款・各種約款の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
	○					国内実務(国内地理、国内運賃料金)の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
		○					模擬試験を通して設問を理解し、正答できる。
テキスト・教材 参考図書	国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン、国内観光資源、模擬試験、各資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期総復習－旅行業法の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	前期総復習－旅行業約款・各種約款の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	前期総復習－国内実務(国内地理分野)の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	前期総復習－国内実務(国内運賃料金分野)の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	観光資源特別講座(確認テスト及び分野別に観光資源を整理学習)			配布資料にて予習しておくこと		
	6	模擬試験(1回目)			各科目を復習しておくこと		
	7	模擬試験(2回目)			前回模擬試験内容を復習しておくこと		
	8	模擬試験(3回目)			前回模擬試験内容を復習しておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)各テーマの確認テストで理解深度確認と評価を行う。 (2)模擬試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎				25%
	模擬試験		◎		○		50%
	学習への取組み				◎		25%
履修上の注意	合宿不参加者は単位分の追加補講を実施。補講時に実施する模擬試験により評価。						

科目名	出入国基礎						
科目名(英)	Emigration and immigration						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において旅行 添乗員して勤務		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	海外旅行における実務知識として、渡航手続き(旅券、査証、税関など)や時差のしくみ等が挙げられる。実際に業界で働く上では、これらの知識を習得し、説明できることが求められる。この授業では、実際に使われる業界用語(2レター、3レター)と共に、海外旅行時に必要とされる実務知識の基礎を習得することを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				旅券を申請する際に必要な書類や、申請の仕方が説明できるようになる	
		○				日本に乗り入れている航空会社の2レターを答えられるようになる	
		○				国内と海外の主要空港の3レターを答えられるようになる	
	○					査証とは何か、特に電子渡航認証についての手続きについて説明ができるようになる	
		○				時差の仕組みと時差計算(相手国の時間と所要時間)ができるようになる	
	○					CIQについて簡潔に説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	U-CANの旅行業務取扱管理者 速習レッスン 旅行実務シリーズ 5. 出入国法令と実務、9. 海外実務 (JTB総合研究所)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	渡航手続きとは			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	2	旅券とは・旅券の新規発給申請について			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	3	旅券のその他の申請、届出について			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	4	旅券の受領、変更や失効について			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	5	業界アルファベット、2レターについて			小テストを実施するため、これまでの復習をしておくこと		
	6	3レターについて			小テストを実施するため、これまでの復習をしておくこと		
	7	査証手続きについて			小テストを実施するため、これまでの復習をしておくこと		
	8	時差の基本			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	9	時差計算 (2カ国間の時差、現地時間の求め方)			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	10	時差計算 (OAG時刻表の見方と所要時間の求め方)			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	11	日本人の出入国手続きについて (CIQと外国での入国、出国の流れ)			小テストを実施するため、これまでの復習をしておくこと		
	12	日本の入国手続き (検疫、税関の仕組み)			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	13	日本の入国手続き (帰国時の税関手続きについて)			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
	14	外国人の出入国、日本在留について			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと		
15	ホテル・クルーズ・旅行保険について			参考書の該当箇所を事前に読んでおくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題の提出を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				90%
	小テスト・宿題	○	◎		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合旅行業務取扱管理者対策補講 I						
科目名(英)	National examination Supplementary lecture I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松昌枝/大岡牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	総合旅行業務取扱管理者試験の対策として、国際航空運賃、海外実務科目の補講を実施。国家資格の取得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					国際航空運賃の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					出入国実務の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					海外旅行実務の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					模擬試験を通して設問を理解し、正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン、模擬試験、各資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目学習－国際航空運賃分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	科目学習－出入国実務分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	科目学習－海外旅行実務分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	演習問題(1回目)－過去問題の実施と解答解説				各科目を復習しておくこと	
	5	演習問題(2回目)－過去問題の実施と解答解説				前回過去問題を復習しておくこと	
	6	模擬試験(1回目)の実施と解答解説				各科目、過去問題を復習しておくこと	
	7	模擬試験(2回目)の実施と解答解説				前回模擬試験内容を復習しておくこと	
	8	模擬試験(3回目)の実施と解答解説				前回模擬試験内容を復習しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)各科目の確認テストを実施。理解度確認と評価を行う。 (2)模擬試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	各科目確認テスト	○	◎				25%
	模擬試験		◎		○		50%
	補講への取組み				◎		25%
履修上の注意	対策補講は希望者を対象に実施。						

科目名	旅行業法						
科目名(英)	Travel Agency Law						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	三笠秀一郎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	旅行業を営むための条件や旅行者と契約を締結する際の規則など旅行業における法律を学び、実務レベルで必要な知識の習得を目的とする						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				目標		
	○				旅行業を営むための手続きや規則を理解することができる。		
	○	○			旅行業法における専門用語の意味を理解できる。		
					国家試験の問題を60%(合格基準)以上解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	国内の国家試験概要説明、法の目的			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	2	法の目的 演習問題(解答と解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	3	旅行業の定義			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	4	旅行業の定義 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	5	登録制度			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	6	登録制度 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	7	営業保証金制度			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	8	営業保証金制度 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	9	旅行業務取扱管理者、料金の揭示			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	10	旅行業務取扱管理者、料金の揭示 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	11	取引条件の説明と契約書面			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	12	取引条件の説明と契約書面 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	13	外務員、広告の表示			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	14	外務員、広告の表示 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	15	旅程管理			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	16	旅程管理 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	17	受託契約			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	18	受託契約 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	19	旅行業協会			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	20	旅行業協会 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	21	旅行業協会の弁済業務			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	22	旅行業協会の弁済業務 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	23	禁止行為			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	24	禁止行為 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	25	事業の廃止、業務改善命令、登録の取消			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	26	事業の廃止、業務改善命令、登録の取消 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	27	旅行サービス手配業			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	28	旅行サービス手配業 演習問題(解答、解説)			学習した範囲の演習問題を解くこと		
	29	旅行業法 理解度テスト			模擬試験に向け復習をしておくこと		
	30	旅行業法まとめ 模擬試験			模擬試験の不正解部分の再学習を指示		
評価方法	(1)各テーマの講義終了後に配布する演習問題の理解度で確認と評価を行う。 (2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				
	演習問題	○	◎		◎		
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	旅行業約款・各種約款						
科目名(英)	Travel industry Agreement						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において旅行 業務担当として勤務		
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	旅行業界ならびに旅行関連業界において、旅行者との間で契約を結ぶ上で、旅行業約款および各種関連約款(航空・フェリー・貸切バス・宿泊)の知識は必須である。 この授業では、旅行業従事者として必要な約款に関する知識を習得し、国内および総合旅行業務取扱管理者試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				旅行業および運送・宿泊等旅行関連業界における約款の位置付けと重要性を説明できる。	
	○	○				標準旅行業約款における募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行契約・旅行相談契約の概要を説明することができる。	
	○	○				関連約款(航空・JR・フェリー・貸切バス・宿泊)の概要を説明することができる。	
	○	○				旅行業および関連約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。	
	○	○				国内および総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業約款、運送および宿泊約款」科目において6割以上得点することができる。	
テキスト・教材 参考図書	U-CAN 2019年版 国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	旅行業約款 総則			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	2	用語の定義			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	3	契約の成立①(契約の申し込み)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	4	契約の成立②(契約締結拒否事由)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	5	契約の成立③(契約の成立、書面の交付)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	6	契約の変更①(契約内容の変更)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	7	契約の変更②(旅行代金の変更)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	8	旅行者の解除権			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	9	旅行者の解除権①(旅行開始前の解除)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	10	旅行者の解除権②(旅行開始後の解除)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	11	団体・グループ			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	12	旅程管理、責任			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	13	旅程保証①(変更補償金の支払い)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	14	旅程保証②(変更補償金が支払われない場合)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	15	旅程保証③(変更補償金の支払いの要否)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	16	特別補償①(特別補償とは)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	17	特別補償②(補償金等)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	18	特別補償③(損害補償金)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	19	特別補償④(特別補償と損害賠償)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	20	企画旅行契約・手配旅行契約 まとめ			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	21	旅行相談契約			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	22	関連約款①(フェリー)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	23	関連約款②(宿泊)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	24	関連約款③(宿泊)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	25	関連約款④(貸切バス)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	26	関連約款⑤(貸切バス)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	27	関連約款⑥(国内航空)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	28	関連約款⑦(国内航空)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
	29	関連約款⑧(国内航空)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。		
30	関連約款⑨(JR営業規則)			学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。			
評価方法	(1) 授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う。 (2) 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	課題プリント	◎	○		◎		50%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						